

あっとわんのFacebook ページでイベントなどの様子をアップしています。
http://www.facebook.com/npoatone

あっとわんのホームページ
http://npo-atone.jimdo.com



代表理事 河野弓子のブログ https://ameblo.jp/berinyan/

東部子育てセンターのブログ http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate

ブログも読んでね!

相談支援事業 障がい者生活支援センターあっとわん
春日井市からの委託事業です

相談支援電話 **0568-91-5557**

面接・電話相談のどちらも対応いたします。面接をご希望の方は、事前に予約をいただくとゆっくり時間を確保できます。

子育てママのためのお金の話 ⑥

働き方が変わる!? 扶養の『106万の壁』 ファイナンシャルプランナー 市川えり

パートで働くママの中には年間収入を130万円以下の扶養範囲内におさめることを重視している方は多いと思います。

しかし2016年10月からは働き方によっては一定の条件を満たした場合、夫の社会保険の被扶養者から外れ、妻自身が社会保険に加入することになります。

その条件とは①週20時間以上②勤務期間一年以上③賃金月額8.8万円(年間106万円)以上④従業員数501人以上の企業(被保険者数)

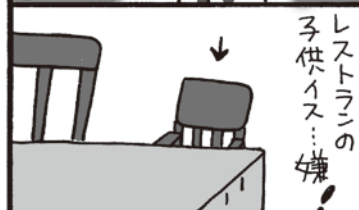
現在は④のような大企業のみ適用されるということですが、この流れはいずれ中小企業にも広がっていくと思います。

「じゃあ今まで年間130万円くらいまで働けたのが106万円になって手取りが減ってしまう!」とお嘆きの声が聞こえてきそうです。しかし、妻自身が社会保険に加入することは将来受け取れる年金の額が増えたり、病気

やケガをした時の傷病手当や出産育児一時金もらえるたりと生活保障の面でもメリットはあるのです。これから扶養の概念は縮小され、夫婦共働きがあたりまえの時代になっていきます。目先の手取り額にとらわれず、長期的な視点で判断したいところです。



水玉ぴとちゃん



いまいゆみこ

N0154

スペシャルキッズの会

時間: 11:00~12:00 (第4・5回のみ10:30~12:00です)

参加費なし

会場: サンマルシェ南館地下二階 NPO法人あっとわん内
予約の必要はありませんので当日お越しください。

※場所の関係上40名を超える場合は入場制限する場合がありますのでご了承ください。

| | | |
|--|---|--|
| 平成28年度の スペシャル キッズの会 【ミニ講座の予定】 | 第4回 9月28日(水) 体とことばの発達について 感覚統合を学ぶ | 第5回 10月26日(水) ビジョントレーニングって何? 子どもの見える 世界を知ろう! |
| 第6回 11月30日(水) 発達障がいと 思春期との 関係について | 第7回 1月25日(水) 発達障がいと 二次障がいについて | 第8回 2月22日(水) 子どもから大人への切り替わり 将来のことを考えて 知っておこう! |

※講座により時間が変わる場合がありますので、確認の上お越しください。こちらの通信で随時お知らせいたします。

耳より情報

相談支援事業の一環として、メルマガを不定期で発行しています。NPO法人あっとわんのトップページの「情報メルマガ」のところから登録していただければ、講演会や講座などの情報を、指定いただいたアドレスに不定期でお送りいたします。良ければ、登録してみてくださいね。

キラキラ フレンズの会

園児さんから小学生の発達障がいのあるお子さんや心配のあるお子さんの保護者さんを対象に、おしゃべりや交流をする時間です。先輩ママの体験談や意見が聞ける時間にもなっています。これは、障がい者生活支援センターあっとわんが応援するものです。

今回は、
平成28年10月12日(水) 10:00~11:30あっとわん事務局内



※当日直接会場にお越しください。いろいろと整えながら開催していきますので、みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

あっとわん春秋

時に、人の捉え方って、本当に様々だと感じることもあります。同じ単語であっても違うのですが、それを聞いてる人の判断で処理されることも多いのです。「辛い」「痛い」「不安だ」「悲しい」「寂しい」また「嬉しい」「楽しい」「ワクワクする」。マイナスマもプラスも、本人の感覚で発せられるのですが、発信者と受信者の温度差が大きい場合、受け止め側の判断が強くなることも多いように感じます。▲特に「対子」となると、「こゝろあるべきが自然に出てしまふことが多いように感じます。」「この子はこんな感情を持ってるのはず」「この子はこういう子だからこう思っているはず」という単なる思い込みとしか言いようのない話を聞くこともあります。▲それは、本当に?と思うことも少なくありません。なるべく発信者の感覚を尊重していくためには、受信者の捉え方を変えていく必要があります。「自分の捉え方を疑ってみる」という思い切った、ここからのスタートが効果的です。自分の感覚を疑うことは、ちょっと勇氣のいることですが、やってみることでモノの見方の幅が広がると思います。

かわのゆみこ

NPO法人あっとわん は、「自立する市民の場づくり」を基本理念とする、子育て親(女性)支援とまちづくりを主な事業とする法人です。

子育て中の女性を応援し、少しでも元気と安心・自信を持っていただけると嬉しく思います。障がいのあるなし、年齢に関わらず子育てを考えます。

事務局 春日井市中央台1-2-2 サンマルシェ南館B1F ラポール親と子の支援センター TEL&FAX 0568-92-5481 (月~金 9:30~17:00 土日祝休み)

春日井市東部子育てセンター 春日井市中央台2-5 サンマルシェ・アピタ館B1F TEL&FAX 0568-92-7757 (月~土 9:00~17:00 日祝休み)